

科目名	感染制御学特論		D3-213	担当教員名	飯干 泰彦、別所 一彦、朝野 和典
単位数	1単位		選択	配当年次	1年次・第2セメスター(前半)
曜日・時限	土曜日・1限目		教室	視聴覚大講義室	
授業概要	院内感染対策は、医療法上すべての医療機関の必須の管理義務となっている。インфекション・コントロール・チーム(ICT)は、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務などの多職種のスタッフが協働で、それぞれの専門的な立場から対策を実施する。院内感染対策では、感染症の発症機序を理解し、感染経路を熟知し、原因微生物に応じた感染対策が求められる。一方で、根拠のない対策は、費用と時間の浪費に終わる危険がある。したがって、院内感染対策の基礎知識を修得することは重要な課題であるため、それに応える知識を育成する。				
到達目標	1) 感染症の病態と発症機序を説明できる。 2) 病院感染対策についての法律および通達、保険制度を知り、エビデンスに基づいた感染対策を立案できる。 3) 薬剤耐性菌によるアウトブレイクの事例から探知方法と対応について学び、予防のためのマニュアルを作成できる。 4) 内科系・外科系感染症の特徴を理解しその対策を立案できる。				
回	日程	見出し	内 容		実践的な授業方法
1	9/24	感染症学総論(1) (朝野)	感染対策の歴史と現状を学ぶ。[実務家教員による授業]		○
2	10/1	感染症学総論(2) (朝野)	院内感染対策の法律と制度を学ぶ。[実務家教員による授業]		○
3	10/8	感染症学総論(3) (朝野)	感染症情報の収集法・ICTを学ぶ。[実務家教員による授業]		○
4	10/15	感染症学総論(4) (朝野)	サーベイランス・アウトブレイクを学ぶ。[実務家教員による授業]		○
5	10/22	感染症学各論-内科系 感染症(1)(別所)	内科系感染症の特徴と診断法を理解する。[ディスカッション]		○
6	10/29	感染症学各論-内科系 感染症(2)(別所)	内科系感染症の治療法を理解する。[ディスカッション]		○
7	11/5	感染症学各論-外科系 感染症(1)(飯干)	外科系感染症の特徴と診断・治療法を理解する。[ディスカッション]		○
8	11/12	感染症学各論-外科系 感染症(2)(飯干)	外科系感染症の治療法を理解する。[ディスカッション]		○
キーワード		院内感染症、職業感染予防、サーベイランス、アウトブレイク、内科系・外科系感染症	履修条件	なし	
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。			
	参考書(任意購入)	特になし			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①授業への参加状況(20%)、②レポート(80%) [①授業への積極性、②到達目標を踏まえ、講義内容を十分に理解し、自らの役割をしっかりと説明できるかを評価します。]			
授業時間外に必要な学修		各自の施設において感染管理上の問題を認識する。			
学生へのメッセージ		院内感染症はICT活動により、現在の1/2～1/3にすることができます。感染症は予防可能な疾患であるという視点が重要です。			

※ 授業の日程については変更する場合があります。